

平成30年度教育事業 教員免許状更新講習



1. ねらい

学校における自然体験活動や集団宿泊活動は、子どもたちの豊かな人間性や社会性の形成及び基本的な体力や心身の健康の保持・増進、望ましい人間関係の形成など、教育効果の高い取組として実施されている。本講習では、児童・生徒に指導する上で必要となる知識・技能の習得とその効果について理解し、活動の全体的な流れを把握すると共に、各自の役割を認識し、各校で自然体験活動の普及・啓発に努める力を育成する。

2. 実施日

7月23日(月)～7月24日(火) 1泊2日

3. 対象者

主に幼稚園・小学校・中学校教諭・養護教諭

4. 参加者 / 募集定員

36名 / 40名

5. プログラム(要約)

本講習は「教員免許状更新講習」の選択講習(12時間)として奈良教育大学と連携して実施したものである。本講習では、自然体験活動の教育課程上の位置づけや各教科との関係、体験活動の効果や重要性について、実践事例を通して確認するとともに、学校でよく行われている野外活動(キャンプファイアー、野外炊事など)について、実習を通して最新の知識や技能、指導法を習得できるプログラムとして構成した。

スケジュール

7月23日(月) 1日目

開講式 オリエンテーション

【講義】「学校における自然体験活動の実際」

【演習】「野外活動の指導法」：自然発見・キャンプファイアー

7月24日(火) 2日目

【演習】「野外活動の指導法」：野外炊事

【講義・演習】「学校教育における自然体験活動の普及・啓発」

修了認定試験・閉講式・アンケート記入

【1日目】

開講式の後、宇陀市立室生中学校長、南 勝久氏を講師として「学校における自然体験活動の実際」と題しての講義を受け、自然体験活動の在り方や意義、教育課程との関わりについて研修した。

午後は野外活動の指導法について、当施設で実施している森林調査隊のプログラム体験の後、地球元気村自然学校の校長、奥田 博氏を講師として「自然と生活」として「森のレストラン」を体験した。

夜は、キャンプファイアーの意義や指導法等の講義の後、演習として、キャンプファイアーを行った。



【2日目】

野外炊事の実習を行った。薪割りの指導におけるポイントや、リスクマネジメントについての講義の後、参加者は「エコ調理」をテーマとして ①水の節約 ②生ゴミの減量 ③残飯の3つの観点から工夫しカレーを調理した。

午後は、校種別のグループに分かれ、園や学校で自然体験活動の計画を作成する場合の留意点を意識してプログラムを組み立てた。どのグループからも、講習で得た知識が生かされた計画となっていた。また、各校種とも積極的に意見を出し合いながら作業を進めていた。

最後は、修了認定試験と閉講式で終了となった。



6. まとめ

参加者は、それぞれの活動においてグループを変えたことで、校種の垣根を越えた交流がみられた。また、学校等の引率時とは異なる視点で自然体験活動を行ったことにより、多くの気づきがあった。

事後アンケートには、「本当に素敵な体験ができました。免許状の更新が目的でしたが、それ以上のものを得ることができました」「他校種・職種の方々と交流ができ、学びの深いものになりました」等、概ね満足度の高い記述が目立った。

(企画指導専門職 上田 考浩)